

編集後記

2017年は国際平和ミュージアム開設25周年でした。創設期の「基本構想書」には「国際性と現代性」「過去の戦争の実相を伝えること」「平和研究・教育の発展」「社会に開かれ、地域に根ざした博物館」を目指すことが述べられています。本号では「記憶の継承」を主題とした論考が寄せられ、今後の国際平和ミュージアムでの研究にとって重要な方向が示されています。今後も多くの研究領域から「平和研究・教育」に資する論考の投稿をお待ちしております。

加國尚志 (立命館大学国際平和ミュージアム
平和教育研究センター副センター長)

投稿へのお誘い

- 立命館平和研究—立命館大学国際平和ミュージアム紀要—では、以下にあげるような、広義の平和に関する研究論文又は学術実践報告の投稿を求めます。
 - ・平和に関する学術研究
 - ・平和に関する教育実践報告
 - ・博物館活動
 - ・博学連携
- 種類と分量
掲載記事の種類と分量は、下記のとおりとし、編集委員会で決定、または承認されたものとしします。
フォーマットは40字×30行とします。

①論文	12,000字～40,000字
②資料紹介	4,000字～20,000字
③研究ノート	4,000字～16,000字
④書評	4,000字～8,000字
⑤調査・研究	4,000字～20,000字
⑥実践報告	4,000字～20,000字
⑦研究展望	4,000字～12,000字
⑧時評・コラム	4,000字～6,000字
- 言語
原則として日本語、横書き、テキスト形式によるもの。
英文の原稿については、事前に編集委員会にご相談ください。
- スケジュール
7月第1土曜日…原稿応募申込締切り
以下の情報をファックス又は郵送
(ファックス書面又は封筒に朱書きで「立命館平和研究」応募と明記すること)
- ①論文の題名(仮題でも可)、②種類、③日本語要旨、④分量
↓
9月末日…原稿締切り
※受取方法：郵送のみ。封筒に朱書きで「立命館平和研究原稿在中」と明記すること。
※提出物：完成原稿と日本語要旨(200字程度)と英語タイトルと英語要旨(250字程度)を印刷とデジタルデータで提出。
↓
3月上旬…刊行(予定)
- 投稿原稿については、編集委員会が審議し、掲載、一部書き直し、返却(掲載不可)などの結果を原稿締切り後3ヶ月以内に投稿者に連絡します。
- 二重投稿はお断りします。
- 論文に画像を掲載するなど、著作権許諾が必要な記事については投稿者が責任を持って許諾を得ること。
- 備考
原稿料はお出ししません。
掲載原稿1編につき、本誌5部、抜刷りを30部進呈します。
- 原稿提出先・お問合せ先
立命館大学国際平和ミュージアム
立命館平和研究編集委員会
〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1
TEL: 075-465-8151 FAX: 075-465-7899